

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	形態機能学IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	403
担当教員	専任教員	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>この科目では、生体の外部・内部環境からの防衛機能、感覚器官における情報と受容の処理、人体を保護し種を保存する機能から老化までを中心に学習する。人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係・形状・内部構造を学び、あわせて各器官の機能、人体における役割を学んでいく。1.体の構造や機能に関する用語とその意味を正しく理解する。2.からだの機能を構造に結びつけて理解する。3.からだの正常な機能と構造から、異常となるメカニズムを推測できる。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>筆記試験(100点)で評価する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>【教科書】「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院 【副読本】「系統看護学講座準拠 解剖生理学ワークブック」医学書院</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義のノートまとめ(図も記載)、プリント課題</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚の構造と機能・皮膚の感覚受容器・皮膚感覚の種類について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	1. 体性感覚 ・皮膚の構造と機能・皮膚の感覚受容器・皮膚感覚の種類				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	内臓感覚の受容器と認識について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	・深部感覚の受容器 2. 内臓感覚の受容器と認識				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼球の構造について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	3. 視覚 ・眼球の構造				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	視力と視野、形状認知と色覚について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	・視力と視野 ・形状認知と色覚				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚の伝導路・眼球運動・眼球に関する反射について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	・講義のノートまとめ(図も記載すること) ・プリント課題	いずれも毎回提出
	各コマにおける授業予定	・視覚の伝導路・眼球運動 ・眼球に関する反射				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	耳の構造・聴覚と聴力・聴覚伝導路について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	4. 聴覚と平衡覚 ・耳の構造・聴覚と聴力・聴覚伝導路		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	平衡器官の構造・平衡覚 味覚と嗅覚・味覚と嗅覚受容器の構造について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・平衡器官の構造・平衡覚 5. 味覚と嗅覚・味覚と嗅覚受容器の構造		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	非特異的生体の防御機能 特異的生体の防御機能について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 非特異的生体の防御機能 2. 特異的生体の防御機能		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温とその調節について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	体温とその調節		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精巣・精路・付属生殖腺の構造と機能について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	1. 男性の生殖系 ・精巣・精路・付属生殖腺の構造と機能		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精子の形成について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・精子の形成		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	卵巣・卵管・子宮・膣・乳腺の構造と機能について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	2. 女性の生殖系 ・卵巣・卵管・子宮・膣・乳腺の構造と機能		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	性周期・受精・胎児の発生について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・性周期 ・受精・胎児の発生		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊娠の成立・胎児の血液循環について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・妊娠の成立 ・胎児の血液循環		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	更年期・老年期の性機能の変化・成長と老化について理解でき、説明できる。	「系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学」医学書院	<ul style="list-style-type: none"> ・講義のノートまとめ (図も記載すること) ・プリント課題 いずれも毎回提出
		各コマにおける授業予定	・更年期・老年期の性機能の変化 3. 成長と老化		